

広報

平成20年 No.47

〔ホームページ〕
<http://www.city.kuji.iwate.jp/>

生涯戦歴

449勝439敗32休 (78場所)

優勝 十両
序ノ口
(各1回)
受賞 敢闘賞
技能賞
(各2回)

ありがとう 栃乃花

元小結の栃乃花が引退 二十山を襲名



引退発表後、春日野部屋にて。市内から駆けつけた応援団とともに笑顔を見せる栃乃花関

本市出身で大相撲元小結の栃乃花（本名谷地仁、春日野部屋）が1月24日に引退し、年寄「二十山」を襲名しました。平成7年3月の初土俵以来12年10カ月にわたり、岩手県内の相撲界のトップとして活躍。序ノ口、十両で優勝各1回。敢闘賞、技能賞を各2回受賞し、古里に希望と感動を与え続けてくれました。長い間、本当にお疲れ様でした。これからの活躍を期待しています。

栃乃花の主な経歴

栃乃花は山形町荷軽部出身（昭和48年生まれ）。小さい頃から体が大きかった栃乃花は、地域の相撲大会では飛びぬけ

栃乃花からのメッセージ

久慈市の皆様には現役中は、たくさん応援ありがとうございました。今現在は力士として相撲を取ることがないんだという寂しい思いと、ホッとした気持ちが交じり合っています。皆様には入門から応援していただいて、良かったとき、悪かったとき常に背中を後押ししてもらっている感じでした。私が長い力士生活を無事に満足いくように送れたのも暖かいご声援のおかげです。これからは恩返しのつもりで後進の指導にあたるなどしていきます。今後も応援よろしく願います。

て強く、何度も優勝していました。そんな栃乃花が本格的に相撲を始めたのは、浄法寺高校に入学してから。1日も早くレギュラーになり、活躍するはずでした。ところが、小さい頃は体の大きさだけで勝つたのに、まるで先輩部員にかないません。壁にぶつかった栃乃花は、このとき、恩師である故北館敬男先生と出会い、「基本を学ぶこと」の大切さを知ったのです。それからの栃乃花は、相撲の基本である四股、テッポウなどの基礎練習に時間を割き、もともと自力もあったので、ついにレギュラーの座を手に入れます。進学した明治大学では全国学生選手権で3位になったもの

の、けがにより実績を残せなかつたため、大相撲では、学生相撲出身力士が得られる幕下付け出しの資格を得られず、前相撲から出発しました。逆境からの初土俵となりましたが、平成7年5月場所には序ノ口で全勝優勝。12年には十両優勝し、同年の新入幕では、大関初挑戦で千代大海、貴ノ浪を撃破。小結まで上り詰めました。持ち味は、おっつけながらの実直なまでの寄り。その基本に忠実な相撲は、まさに高校・大学時代に身に付けたものでした。16年には、けがにより幕下まで転落しましたが、脅威の粘りで17年に再入幕。ベテラらしい相撲運びで再び古里を沸かせてくれました。